広島湾ベイエリア・周防大島

海・山・心　つながる絆
感動☆島体験

山口県東南部の瀬戸内海に浮かぶ、温暖な気候と美しい自然に恵まれた周防大島。ハワイ州カウアイ島の姉妹島で、南国ムード漂う癒やしの島は「瀬戸内のハワイ」と呼ばれています。主な産業は農業・漁業・観光業で、農業ではミカン栽培、漁業ではタイやイワシなどの沿岸漁業が盛んです。海や山の自然を生かした豊富な体験プログラムが魅力で、世界遺産の原爆ドームや宮島とのアクセスも良好です。

民泊での共同調理体験

■民泊体験（ホームステイ）

島の家庭にホームステイし、人情あふれる田舎暮らしを体験！　自然の恵みに触れ、生産の喜びを知り、未知のことに挑む精神力を培い、子どもたちの「生きる力」を育みます。

周防大島には農業と漁業を営む半農半漁の家庭が多く、豊かな自然と共に生きる島ならではの暮らしがあります。魚を釣ってさばき、畑で野菜を育て、周囲の人と支え合って過ごす穏やかな日常。島の暮らしを体験することで、私たちが自然や生命の恵みを受け、多くの人との関わりの中で生きていることを実感できます。また、社会の仕組みや問題に関心を持つことの大切さも学んでほしいと思います。

カヌー体験

民泊では、交流の中で生まれる「心と心のふれあい」を大切にしています。家族の一員として島の家族とたくさん交流し、挑戦することの楽しさや、家族の温かさなど、さまざまなことを感じ、心に残る感動体験を持ち帰ってほしいと思います。

■選択別体験プログラム

周防大島では多様な体験プログラムを提供しており、中でもカヌーや塩作りの体験が人気です。

①カヌー体験

波や風を肌で感じながら1㌔沖合の無人島への航海にチャレンジ！　2人乗りのカヌーではバディ（相棒）と息を合わせることがポイント。目標到達を目指し諦めない心と協調性を養います。

②周防大島塩作り復活体験

周防大島の塩作りの歴史は古く、奈良時代以前までさかのぼります。その歴史をひも解き、復活への思いを知り、実際に海水からの塩作りに挑戦します。塩と海水を分離させる作業はとても根気がいりますが、仲間と協力することでチームワークを育みます。

周防大島の塩

■SDGs探求学習プログラム

SDGsをテーマにさまざまな社会問題を実践的に学び、自ら調査・考察しながら解決策を導き出す探求型プログラム。

①海ごみゼロプロジェクト

海洋ごみの実態とその影響を調査。作る側・使う側の責任を知り、豊かな海を守る手段を考えます。また、清掃活動を通じて地域や社会に貢献する意識を育みます。

②ミツバチが担う役割を知り環境保護の大切さを学ぶ

島の養蜂家からミツバチ減少の実態を学び、その原因を探求します。気候変動や食料問題といった地球規模の問題に対し、自分たちに何ができるのか考えます。

■安心・安全で質の高い受け入れ

周防大島での体験を通じて、未来を担う子どもたちの心を育むお手伝いができればと考えています。皆さまに安心してご来島いただけるよう、安全対策や食品衛生などの研修会を実施し、万全の体制でお待ちしています。ぜひ周防大島へお越しください。

島の人々とのお別れ

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　産業・地域振興部　地域振興課内）
担当（田村）
営業時間　月～金曜日　9：00～18：00（祝日は除く）
〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL 082-555-8081　FAX 082-222-6622
E-mail bayarea@hiroshimacci.or.jp
URL https://www.hiroshima-bayarea.net/

広島湾ベイエリア・大崎上島

自然と歴史とSDGs
人情感じる感動の島

広島県大崎上島町は、瀬戸内海のほぼ中央に位置する面積43平方㌔、人口約7千人の離島です。本土とは、竹原港、安芸津港とフェリーで約30分で結ばれており、その他、大崎下島、大三島、今治市との航路もあります。離島ではあるものの、山陽自動車道・広島空港等により主要都市とは短時間で結ばれています。瀬戸内海特有の温暖な気候と風光明媚な景観の中、島という限られた土地に生き、造船・海運業、ミカン・レモン・デコポン等多種類の柑橘栽培をはじめとする農業、水産業等、先人たちのたゆまぬ努力によって発展してきました。

チームビルディングに最適な櫂伝馬体験

平成23年より体験型修学旅行の受け入れに向けてスタートし、島の特性・文化を生かしたさまざまなプログラムを用意しています。中でも一番おすすめプログラムは、200年以上の伝統を誇る「櫂伝馬体験」です。昔は陸の伝達手法は早馬でしたが、櫂伝馬は海での情報伝令の役目を担った木造船で、14人の漕ぎ手と太鼓1人、船頭1人の16人が乗り込みます。それぞれのポジションで役割を担い、独特の掛け声と太鼓で調子を合わせ、心を一つにして櫂の培過程を学ぶ農業体験など、島をまるごと体験していただけます。

農業や食を学ぶ農業体験

シーカヤック体験

民泊体験は120人の受け入れが可能で、島の人々と生活を共にすることにより、豊かな自然と動きを合わせなければならず、チームワークの育成に比類のない、学校教育には極めて有効なプログラムです。

また、瀬戸内の穏やかな海を渡り甘藻場で海の生命について学ぶシーカヤック体験、刺網漁や船釣り、波止釣りでとれたばかりの魚の調理体験、タイやヒラメの養殖漁業体験、温暖な気候で育まれたミカン・レモン・デコポン・はるみ等の多種類の柑橘やブルーベリー・イチゴ・トマト等の栽培過程を学ぶ農業体験など、島独特の人情を感じていただき、島の人々の生き方や命の源の食生産を担う農山漁村の役割を考え、理解する機会となります。これら「まるごと島体験」が、自らの生活や家庭、生き方を省みる機会となり、生きる力と豊かな心を育む契機になればと考えています。

瀬戸内海で船釣り体験

皆さまに安心して来島いただけるよう、新型コロナウイルス感染症防止安全対策やその他安全・衛生・防火等の各種講習会を行い、万全の体制でお迎えしますので、ぜひ大崎上島町にお越しください。

◆SDGs取り組みプログラム

「主体的・対話的で深い学び」に加え、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であるSDGsに取り組むためのプログラムも用意しています。

●シーカヤック（体験人数120人）

海岸周辺を航海し、海と島々の美しさを楽しみます。また、プランクトンや稚魚がすむ「魚のゆりかご」と呼ばれる瀬戸内海でも有数の甘藻場の観察をし環境学習をします。

フェリーに乗ってお別れ

●みかん農家体験（体験人数50人）

瀬戸内海特有の温暖な気候で育ったミカンの剪定、収穫等の作業を体験します。また、栽培過程から農業の厳しさを学び、食について学習します。

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　産業・地域振興部　地域振興課内）
担当（田村）
営業時間　月～金曜日　9：00～18：00（祝日は除く）
〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL 082-555-8081　FAX 082-222-6622
E-mail bayarea@hiroshimacci.or.jp
URL https://www.hiroshima-bayarea.net/

探究学習とキャリア教育を

徳島県・美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町

ESD・若者のためのSDGs実践現場
〝日本一の田舎〟そらの郷

徳島県の西部「そらの郷」は、四国の中央に位置するにし阿波（美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町）エリアです。「大歩危・祖谷」「吉野川」「剣山」に代表される自然、歴史文化、伝統や伝承、さらに独自の食文化、伝統芸能に彩られた全国屈指の観光地域であるとともに、素朴で温かみのある古き良き暮らしが今もなお息づいています。

そらの郷の民泊家庭は115軒（受け入れ可能人数400人）で、その多くが山腹の急傾斜地に張り付くように形成される集落に存在し、特有の文化的背景を形成しています。山畑のコエグロ、石積み、人家などが一つとなった傾斜地における自然共生の風景こそが「日本一の田舎」や「桃源郷」とも称される日本の原風景です。

世界が認めるウォータースポーツフィールド

生徒たちは家族の一員として迎えられ、茶摘みや野菜の収穫、雑穀の収穫など、少量多品種の自給的農業を協働します。収穫した旬の野菜や山菜を使って田舎料理を共同調理、家族団らんの食事での心の交流。高度な土地利用が成すエシカル農業ライフや生物多様性を保全し、貧困問題の解決に寄与するサスティナブル農法など、各種SDGsコンテンツの実践体験によって〝日本一〟の厳しさを豊かに変える暮らしを学びます。

SDGs―PBL×STEAMプログラムでは、地元高校生とフィールドワークなどに取り組む

にし阿波エリアは「地方創生の成功事例」といわれ、2016年に農林水産省から「食と農の景勝地」の認定。18年に国連食糧農業機関（FAO）から「世界農業遺産（GIAHS）」の認定。20年に第17回オーライ・ニッポン大賞「内閣総理大臣賞」を受賞しています。また、SDGsの実践現場としてESDの地域推進拠点に登録されており、「PBL（課題解決型学習）×STEAMプログラム」を実施しています。各校のテーマに沿い、フィールドワーク、ワークショップ、ディスカッションなどを組み立てるほんもののSDGsアクティブラーニングを通して、多様性の時代に対応する社会に開かれた教育現場「日本一の田舎」として、未来を変える若者を育成します。

傾斜地に点在する集落「天空の里」で田舎暮らしを体験

なお、withコロナ対策として、民泊HACCP衛生管理を導入するなど、品質のアップデートに成功しました。全ての民泊家庭やインストラクターは、研修の安全衛生講習を受け、危機管理や安全対策に関する万全の体制を整えています。

「食と農の景勝地」でSDGsを実践

農業体験交流

■吉野川ラフティング

日本三大暴れ川、吉野川は世界クラスのラフティングコース。17年、日本初の世界選手権を開催。仲間とボートを操り、激流を乗り越え、五感で自然と対峙します。

■静水ラフティング

静水の中でラフティングができることが最大の特徴。個性を認め、支え合い、ひとつのゴールに向かって進んでゆけるチームづくりに最適です。

■吉野川パークゴルフ

多世代交流型のスポーツを介し、河川環境マインドや心身の健全な成長を促し、社会的コミュニケーション能力を身につけます。

一般社団法人 そらの郷
営業時間　平日8：30～17：15
※内容のお問い合わせは事務局・担当者までお願いします。
〒778-0005 徳島県三好市池田町シマ995-1
TEL 0883-76-0713　FAX 0883-72-0753
E-mail sora-yamazato@nishi-awa.jp
URL https://nishi-awa.jp/soranosato/

愛媛県・南予地域

令和6年度11校2千人が民泊体験
日本屈指の農林漁業営み体験

愛媛県南西部に位置する南予地域は、4市（宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市）、5町（内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町）からなり、海、山、川の自然に恵まれ、農林漁業の営みが盛んです。

温暖な気候に恵まれたリアス式海岸では、生産量日本一を誇るマダイやシマアジ、真珠などが養殖されています。また、日本農業遺産に認定された「愛媛・南予の柑橘農業システム」は急傾斜地の段々畑が特徴で、壮大な景観とともに日本一の〝柑橘王国・愛媛〟の屋台骨を担っています。宇和島城や内子、大洲、宇和の古い町並みなど、歴史文化遺産も多く、日本一細長い佐田岬半島や四国西予ジオパーク、滑床や成川の渓谷など多様な自然環境を有しています。

日本農業遺産に認定された柑橘農業システム

■最大10クラス400人の受け入れが可能な民泊

南予地域では、豊かな自然と多様な農林漁業の営みを生かした教育旅行プログラム「ふるさと南予感動体験」の受け入れを進めています。その根幹は、最大100軒400人の受け入れが可能な「民泊」にあり、ありのままの暮らしの中、生徒の皆さんをお客さまではなく家族の一員として迎え入れます。

体験型SDGs学習の一つ、養殖マダイへの餌やり体験

一方「体験」は、日本屈指の農林漁業拠点での食育体験、海山川3拍子そろった自然を存分に楽しむ自然体験、さらに民泊先家族と一緒に過ごす「ふれあい交流体験」（家業体験）など、多様なプログラムを用意し、季節や希望に応じたコーディネートを実施します。

■二つのSDGs学習プラン

南予地域では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、民泊を絡めた「南予版PBL」（課題解決型学習）と、日帰りの「体験型SDGs学習」の二つのプランをご用意しています。「南予版PBL」では、民泊先へのインタビュー、各種体験時の実体験を足がかりに、チームごとに地域課題の解決策を検討し発表します。「体験型SDGs学習」では、体験プログラムごとにひも付けられたSDGsのターゲットと、グローバル指標について、実体験を通して学びを深めます。

船釣り体験

例えば、生産量日本一の「養殖マダイへの餌やり体験」では、目標12「つくる責任つかう責任」のターゲット⑤⑧などについて、柑橘王国・愛媛での「みかん山整備体験」では、目標2「飢餓をゼロに」のターゲット④および目標15「陸の豊かさも守ろう」のターゲット④などについて学びます。

郷土料理づくり体験

いずれも、SDGsの枠組みの中で生徒自らが身近な事例と結び付けることで、SDGsの〝自分ごと化〟を図ることを狙っています。

■モデルコース

広島平和学習や松山市内班別自主研修との組み合わせが定番です。広島から松山までは高速船で80分、松山から南予各地域まではバスで1～2時間程度です。日中の体験は、民泊先家族と一緒に過ごす「ふれあい交流体験」（家業体験）、各種の農林漁業体験などの「選択体験」のいずれにも対応しています。

一般社団法人　八幡浜市ふるさと観光公社
〒796-8501 愛媛県八幡浜市北浜1-1-1
TEL 0894-22-0855　FAX 0894-22-5653
URL https://furusato-nanyo.com/
◀教育旅行用ホームページ